

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茅ヶ崎市本村1丁目計画新築工事	階数	地上6F/地下1F
建設地	茅ヶ崎市本村1丁目6167-2 外4筆	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	120 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年5月 予定	評価の実施日	2020年3月3日
敷地面積	1,161 m ²	作成者	有限会社 恒企画
建築面積	579 m ²	確認日	2020年3月3日
延床面積	2,984 m ²	確認者	有限会社 恒企画

外観バース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.8 ★★☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> <p>環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能 5 Q1 室内環境 4 Q3 室外環境(敷地内) 3 LR1 エネルギー 2 LR2 資源・マテリアル 2 LR3 敷地外環境 2</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.6</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.7</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>前面道路の国道1号の松並木と調和するよう、道路境界線沿いに緑地を設け、みどり豊かな景観形成を図った。アースカラーを基本とし、周囲と調和のとれた色彩とした。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>高い昼光率を確保し、レースカーテンとバルコニーで昼光制御を行っている。また、F☆☆☆☆の建材を採用するなど、室内環境の向上に努めている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>住宅性能評価における劣化対策等級3とし、機械配管支持方法を耐震クラスAとするなど、建物のサービス性能に配慮した設計としている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>標準的な配慮を行っている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>建物全体のBEI=0.93とし、建物の省エネルギー性能の向上に努めている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LGs下地を採用し、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LCCO2排出率83%とし、敷地外環境に配慮した設計としている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される